患者図書室のリニューアル

- 患者さんに提供する健康図書、医学書が不足していた（395冊）　→　貸出ができない
- 2008年、NPO法人「医療の質に関する研究会」の「患者図書室プロジェクト―みんなの医療情報AからZまで―」の全国公募に応募
- 2008年度寄附対象施設（10施設）に選ばれる
  →　患者さん用家具や図書の寄贈
- 2009年6月29日にリニューアルオープン

患者図書室
―みんなの医療情報AからZまで―

（リニューアルされた点）

- 木製書架、ソファー、キャレルディスク
- 約1,000冊の寄贈図書（2009年～2012年）
- パンフレットを150種類に増やす
- 利用時間を、10時～16時とする

（今後の展望）

- スタッフとの協働で活用したい

患者図書室の評価

- 病院機能評価　Ver.5　　患者のための図書館
- 　　同　　Ver.6　　地域の健康増進活動、患者―医療者のパートナーシップ、外来待ち時間への配慮、いやしの環境に配慮
- 地域支援病院として地域住民を支援する活動

↓

評価されることは、病院にとってもメリット

患者図書室の形

- 別室に資料を運ぶ
  浜松赤十字病院（旧病院）
- 外来のコーナーなどの利用
  静岡市立静岡病院、静岡市立清水病院
  聖隷浜松病院
- 独立した部屋を持つ
  静岡がんセンター、聖隷三方原病院
- 医学図書室の公開（併設）
  静岡県立こども病院、藤枝市立病院
  浜松赤十字病院（新病院）

患者図書室開設を推進しましょう

- どの病院にも、どんな形でも患者図書室が必要
  ← 入院した経験から
- 活動にはきっかけが必要
  → 必要性を感じたスタッフから、開設を呼びかける
- どんな形でも、活動はスタートできる
- 医学図書室の担当者は積極的に関与する
  → 開設後も継続したバックアップが必要

COPD

ご利用のご案内

ご利用のご案内